

オーダーと、オーダーメイドの考え方が前年度に比し一層明確に観察された。

B-92 衣生活における既製服の実態に関する研究 (第5報)

一宮女短大 山本かなる

1. 前回第1報～第4報において、衣生活における愛知県下、既製服消費状況について、昭和37年2月、つづいて同38年2月両年度において、地域別、年代別、職業別の実態調査を行ない比較報告に及んだが、以後5カ年の経過を得た今日どのような消費動向にあるか、近時衣生活の実態を把握、観察しようと試みた。

2. 調査地域 名古屋市、一宮市在住者対象
調査方法 職業別による世帯、職業婦人
(A) サラリーマン世帯、自家経営世帯
(B) 職業婦人 { 小学校 女子教職員
 { 役所関係 女子事務職員
 { 銀行関係 女子事務行員
(A) 高校生徒を通しその家族世帯 120名
(B) 直接勤務先を訪問、上司を通し勤務者に調査用紙を依頼した 120名

調査内容 婦人既製服の利用状況、その良否、イメージオーダー、オーダーメイド購入品種など年代別地域差によって調査。

3. 地域差、年代別による主婦学歴教養による影響などにより、既製服の利用状況、購入品種の傾向、イメージオーダー、オーダーメイドの利用に関する考え方などが考察されるが特に既製服とオーダーメイド、イメージ